

第36回全日本学生ライフセービング選手権 行動制限・管理について①

- 今大会は、1日あたりの参加人数を抑制し、人流抑制を行う観点から、次の形態にて実施をいたします。
 - ・ 10/2(土)を女子種目のみ、10/3(日)を男子種目のみ。
 - ・ 例年より開始時刻を後ろ倒しとし、前泊利用が無くても参加を可能とする（原則）。
 - ・ 大会運営スタッフやチーム引率者等を除き、2日間に渡っての参加や滞在は原則自粛してください（該当の日に来て自身の参加種目が終わったら帰宅する、等）。ただし、遠方チームにおいてやむをえずチーム全員が同じ行程・行動（貸切バスでの移動、など）を取らざるを得ないチームは、大会実行委員会までご相談願います。
- 今大会に参加する全ての関係者に対して、以下を義務付けます。感染拡大を防止し、安心して大会を実施するための措置となります。遵守するようにお願いいたします。
 - ・ PCR検査の事前実施（選手、審判員スタッフの検査キット費用は主催者負担）
 - ・ PCR検査による陰性が確認できるデータや書類（自身が参加する日から72時間以内の検査結果を原則とする）
 - ・ 大会前14日間の体調管理ならびにその記録を残すこと（主催者指定のアプリケーションを用いること）
- 大会会場入り口で、PCR検査陰性確認、体調記録確認、検温、などを実施します。これらが確認できない場合は競技会場には入場できず、ご帰宅いただく場合があります。

第36回全日本学生ライフセービング選手権 行動制限・管理について②

- 各チームの宿泊利用は、最低限の宿泊に留めるようお願いいたします。
- 競技会当日は、現地町内での行動や移動は最小限に留めてください。現地住民の皆様のご迷惑となるような行動は厳に慎んでください。
(例)
 - ・ 大勢で町のスーパーやコンビニに買い物に行かない
 - ・ 大勢で会話をしながら町内に出回らない
 - ・ 電車利用時は駅から、自家用車等での来訪時は駐車場から、やむなく宿泊利用時は宿泊施設から、それぞれ競技会場まで直接移動をする（他の施設には立ち寄らない）
- 一度競技会場内に入場した後は、競技会場から出ることを原則として禁じます。但し、急を要する買い出しや緊急対応時に限り、大会本部へご相談の上、各チームを代表して最少人数（原則1人）で対応をしてください。
- 選手テントエリアにおいて、各チーム同士が密とならぬよう、十分な間隔を開けて設置利用をしてください。テント待機時は必ずマスクを着用し、もし食事をする場合は「黙食」とし、かつ周りに他者がいない状態を守ってください。

第36回全日本学生ライフセービング選手権 行動制限・管理について③

- 事前のPCR検査によって「陽性」反応が認められた場合、競技会場ならびに御宿町への移動は絶対におやめください。検査機関や保健所に連絡をし、然るべき対応をとってください。
- 今大会は「無観客大会」として実施いたします。競技会会場への入場は関係者（当日の出場競技者、出場チームの引率者3人まで、コンディショニングトレーナー1人まで、競技会運営スタッフ、競技役員）のみとします。この為、競技に出場しない者（同チーム在籍だが本競技会に出場しない者、同チームの卒業生、保護者、一般観客、など）の来場はお控えください。
- 参加者は常にマスクを装着し、大きな声での会話を控え、ソーシャルディスタンスを確保してください。また手指消毒を心がけてください。ウォーミングアップやレース出場時に限り、直前までマスクを装着し、マスクを外した後の会話や発声は控えてください。また外したマスクは衣類のポケットや袋等に入れ、紛失等しないようにご注意ください。
- 大きな音を発する鳴り物、大きな声での声援を禁じます。「応援は拍手」にてご協力をお願いいたします。
- これらの行動制限や管理を、各チームならびに各人員、全スタッフが遵守し履行することが求められます。遵守できないチーム等には主催者判断で会場からの退去や失格、あるいは大会の即時中止の判断をする場合があります。

第36回全日本学生ライフセービング選手権 検温受付体制について

- 競技会の前日（10月1日(金)15:00まで）に、**検温結果**と**問診**の両方の入力を、競技会前14日間に渡って必ず入力を済ませておいてください。
- 競技会の当日（10月2日(土)と3日(日)）の朝の**検温結果**と**問診**を、来場前に必ず入力をしてください。
- 競技会場に着きましたら、検温受付（※会場図参照）までお越しくください。受付にて、「テレサ」の入場コードとPCR検査の陰性結果を提示してください。
※朝の時間帯以後は、大会本部にて対応いたします。
- 受付では、非接触式体温計を使って、検温を実施します。
- 「テレサ」入場コード、受付時の体温に問題がない場合、**リストバンド**を配布します。競技会場内に入る場合は、必ずリストバンドを装着するようにお願いします。原則は手首としますが、競技者は足首でも構いません（チームの事情により、1日目に来場せざるを得ない2日目の選手に対しては、大会実行委員会に事前に相談の上、1日目でもリストバンドは配布します）。
- 「テレサ」入場コードや検温結果に異常が出た場合は、受付列から外れて、**問診エリアに移動をお願いします**。問診を実施し、腋下での再検温を行います。問題なければリストバンドを配布、問題ある場合は競技会場には入れず、ご帰宅いただく場合があります。

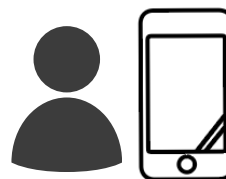
第36回全日本学生ライフセービング選手権 検温受付体制イメージ



テレサ - 体温記録活用アプリ - (4+)
株式会社新潟アルビレックスランニングクラブ
★★★★☆ 4.2・13件の評価
無料

<https://www.albirex-rc.com/4905/>

参加者は「テレサ」の
入場コードを提示



係員による
・参加者の検温チェック
・「テレサ」入場コードの目視確認
※QRコードの読み取りはしません



問診の実施
腋下での検温実施



- ・検温結果に問題あり
- ・入場コードが「赤色」である

列から外れて、問診エリアまで移動をお願いします。

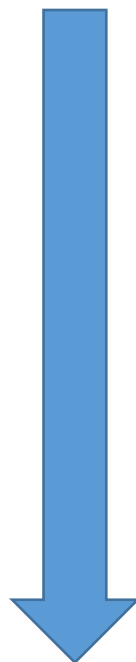
問診および腋下での検温を実施、問題がなければリストバンドを配布します。




問題がある場合は、入場はできません。ご帰宅いただく場合があります。



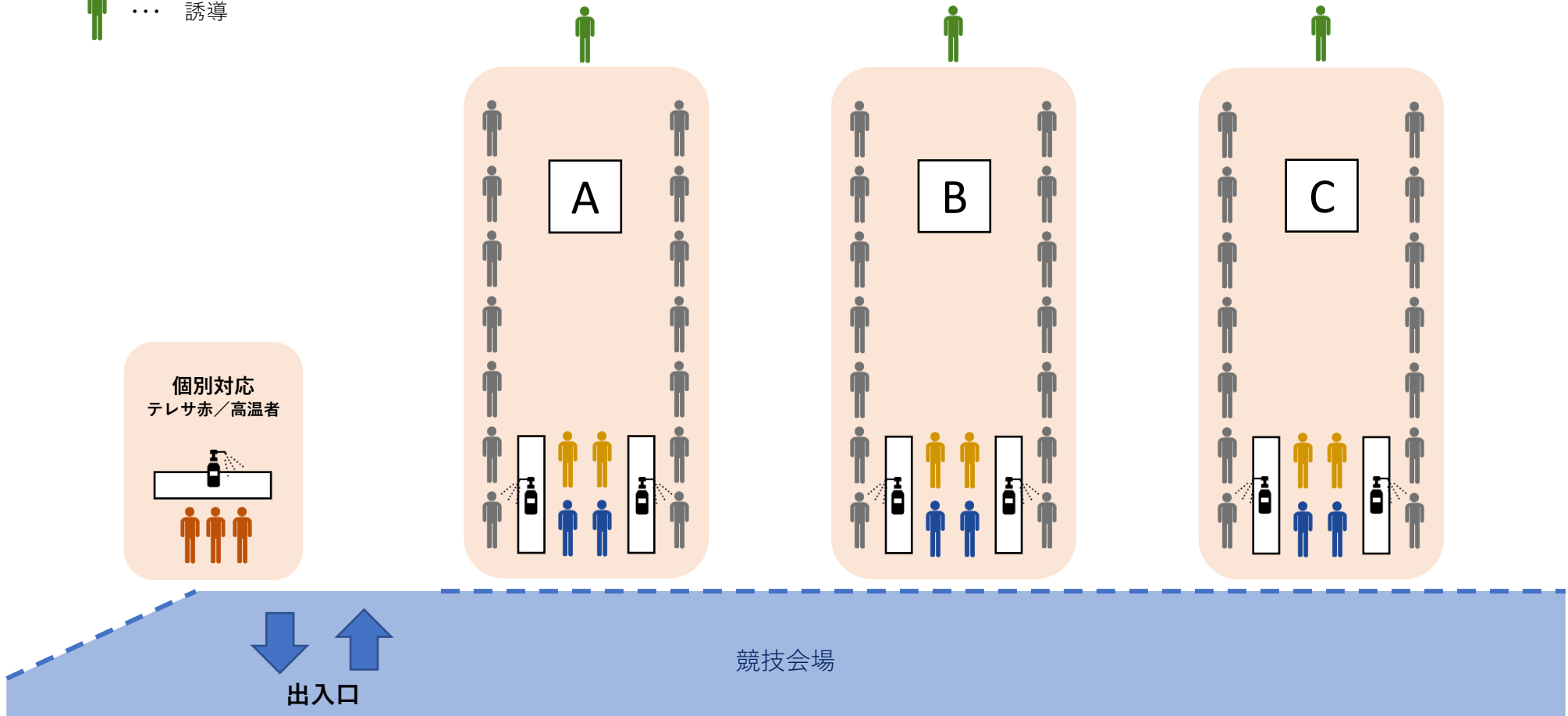
- ・検温OK
- ・入場コード「緑」
- ・PCR検査結果が陰性（結果を提示）

であれば、リストバンドを配布
関係者は手首（選手は足首でも可能）



-  … テレサ&検温チェック
-  … リストバンド配布
-  … 誘導

1つのグループにこだわらず、空いている列に
間隔を空けて 順番に提示をしてください。



第36回全日本学生ライフセービング選手権 リストバンドの色分け

- 受付（テレサの確認と検温結果）を終えた関係者には、次の認識タグ（リストバンド）を配布します。
- 配布は1回のみですので、2日間に渡って参加の場合は、同じものを装着してください。
- **ただし、2日目の朝も必ず受付（検温確認など）が必要です。**

青

人気No1! 艶のあるしっかりブルー!



クラブ関係者（引率者）

赤

シンプルながら目を引く鮮やかな赤!



男子選手

黄色

マスタードのような暖色系!



女子選手

緑

エメラルドグリーンに近い（ステル色）!



競技役員+スタッフ

第36回全日本学生ライフセービング選手権 公式掲示板の運用について

- 今大会では混雑を避けるため、公式掲示板は設置いたしません。
- 競技結果（次ラウンド進出者、最終結果、など）は、本協会スポーツ専用のFacebookアカウントを活用します。
- アカウント名称「JLA Lifesavingsport」
<https://www.facebook.com/jla.lifesavingsport>

第36回全日本学生ライフセービング選手権 写真や動画の撮影についての本大会特別ルール

これまでと同じルールで、チームユニフォームを着用している方は、撮影いただけるものといたします。ただし、地域に発令されている要請などを鑑み、新型コロナウイルス感染拡大予防に徹底集中したい観点と、参加者の皆さんが、インターネット上での予測できないトラブルや誹謗中傷に合わないよう、次のことをご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

- 撮影は他者との距離を十分にとって行ってください。（感染拡大予防ガイドライン遵守）
- チームユニフォームを着用しない者、関係者への撮影許可証発行は実施いたしません。
- 個人で撮影した写真や動画は、個人やチームの記録としてお楽しみいただき、SNSやホームページ、ブログ等へ掲載することはご遠慮ください。
- チームのSNSやホームページ、ブログ等へ、写真や動画を掲載したい場合、組織の運営するネットメディアへの掲載であることがわかるよう、事前に取材申請をいただき、JLA広報室で掲載前確認をさせていただきます。

取材申し込み書をダウンロードしてください

<https://jla-lifesaving.or.jp/media/>

必要事項を記入の上、大会当日に持参いただくか、事前にJLA広報室 press@jla.gr.jp までメールで申請してください。